

GIGAスクール構想第2期における取り組みについて  
(学習者用コンピュータの整備・更新)

## 1 本市におけるICT教育の現状

### (1) タブレット端末の配備状況(GIGAスクール構想整備分)

《小学校》iPad 1974台 《中学校》windowsPC 1043台

### (2) ICT機器の活用状況(教員アンケート、学校訪問から)

- ・タブレット端末については、各校とも1日平均2～3コマの授業で活用されている。(タブレット端末の活用に合わせて大型提示装置の活用も進んでいる。)
- ・教材提示や資料提示だけでなく、考えを共有したり、比較・検討したりする活動にも活用されている。

### (3) 課題について

- 家庭と連携した情報モラル教育の推進
- タブレット端末の持ち帰りに向けた条件整備
- 修理・故障への対応
- 通信環境に伴うトラブル・不具合への対応

#### 【トラブル・不具合の具体例】

- ・動画再生が安定しない ・画面が固まって動かない など

⇒ ネットワーク環境の整備 (「当面の推奨帯域」を満たしていない)

- 学習者用コンピュータの整備・更新端末の計画的更新

⇒ 「公立学校情報機器整備事業費補助金」を活用しての計画的更新

## 2 公立学校情報機器整備事業費補助金を活用しての更新

- ・令和6年度から5年程度をかけて学習者用コンピュータを計画的に更新する。  
(予備機を含めて)

### (1) 補助基準額・補助率

- ① 補助基準額：1台当たり55,000円
- ② 補助率：2/3 (1/3は市町村負担)

### (2) 補助要件

- ① 都道府県が設置する共同調達会議に参加すること。
- ② 共同調達により学習者用コンピュータを整備又は更新すること。
- ③ 補助の対象となる端末は、「最低スペック基準」を満たすこと。
- ④ 教員数分の指導者用端末を整備すること。
- ⑤ 児童生徒が利用する端末を対象としたWebフィルタリング機能を備えること。
- ⑥ 端末の日常的な利活用に係る計画等を策定し、公表すること。

(計画等：端末整備・更新計画、ネットワーク整備計画、校務DX計画、  
1人1台端末の利活用に係る計画 の4つ)

### (3) 最低スペック基準（主なもの）

- ① タッチパネル、タッチペン、ハードウェアキーボードを備える
  - ② 以下の端末管理機能（MDM）を有する
    - ア ソフトウェア等の配信設定
    - イ 接続先ネットワークの制御
    - ウ 紛失・盗難時の制御設定
  - ③ 教科横断的に活用できる学習ツール（ソフトウェア※）を有する
- ※「ワープロソフト」「表計算ソフト」「プレゼンテーションソフト」「インターネットブラウザ」等

【福島県推奨】	・ChromeOS [Chromebook]
【相馬市の現状】	・iOS [iPad]（小学校）
	・WindowsOS [lenovo]（中学校）

## 3 学習者用コンピュータの更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
児童生徒数(人)	2,628	2,562	2,442	2,357	－
整備する端末数					
学習者用端末(台)	0	1,534	509	314	2,357
予備機台数(台)※1	0	230	76	47	353
合計(台)	0	1,764	585	361	2,710
整備に係る費用の算出(円)※2	－	106,722,000	35,392,500	21,840,500	163,955,000
補助基準額	55,000円／1台				
補助率	2／3（1／3は市町村負担）				
補助要件となる指導者用端末の必要台数(台)	216台				
指導者用端末の費用の算出(円)※3	13,068,000				

※1 予備機の台数は、整備する端末の15%以内

※2 1台あたりの単価を55,000円（税込額）として算出、

※3 1台あたりの単価を学習者用端末と同額（税込額）とした場合

## 4 共同調達のスケジュール

- ① 機種、台数及び納入期限の確定 [12月]
- ② 共通仕様書の決定 [12月]
- ③ 入札公告 [1月]
- ④ 入札 [3月]
- ⑤ 契約 [4月]

※①～④はふくしまGIGAスクール構想推進協議会において実施し、⑤は市が落札者との間で随意契約を行う。

※令和7年度の途中から使用可能となる。